

令和4年3月30日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
公衆衛生担当理事 今井 一登

医療用医薬品の供給不足解消に向けた取り組みについて

神奈川県医師会より通知が参りましたのでお知らせします。

公益社団法人日本医師会会長

中川 俊男

(公印省略)

医療用医薬品の供給不足解消に向けた取り組みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、現在、医療用医薬品約3000品目の供給不足により、医療現場では、今まで処方していた薬を処方できないために他の医薬品へ処方変更したり、医薬品卸との納入の交渉を頻回に行う必要があるなど、医療提供に支障をきたしており、これまでも、会員の先生方から本会へ、病院・診療所に医薬品が納入されないことや、処方しても薬局に医薬品がないために調剤できない現状について、ご報告を頂戴しております。

いま起きている医薬品の供給不足の問題は、一部企業が後発医薬品の製造や出荷を長期間停止または縮小したことが発端である一方、同じ成分規格や類薬を製造販売する先発品および後発品メーカーにおいても、在庫が激減するのを防ぐために出荷を控えたり、新規の受注を断ったりする場合があります。理由にあると考えられます。

このような状況を踏まえ、日本製薬団体連合会会長及び日本製薬工業協会会長宛に、本会より、「医療用医薬品の供給不足解消に向けた取り組みについて」を本日付けで発出し、会員各社に対して、医療現場からの声を重く受け止め、貴会会員各社に引き続き増産に努めていただくこと、医薬品供給の偏在防止及びきめ細やかな受注に早急に対応されるよう、強く要望いたしました。